

交流及び共同学習年間計画 『6年4組の仲間と一緒に!』

【 A男 】

願う姿 (A男)
 仲間と共に関わりながら楽しく活動する。
 仲間に手伝ってもらいながら、自分でできることを増やす。

願う姿 (交流学級児童)
 A男を理解し、進んで関わる。
 A男との関わりを通して、自分でできることを考えたり相手のことを思いやったりすることの大切さに気づき、共生について考える。

共に学び合い、高め合う
「交流及び共同学習」
 互いのよさを認め合い、
 互いに成長し合える交流

3 学期

1 学期

2 学期

関わりを増やす

具体的活動
 交流の場を増やす
 (外国語活動・給食など)
 社会見学
 金華山登山での班行動

A男：交流学級で過ごす時間を楽しむことができる。

交流学級児童：A男のことを意識して進んで関わろうとする。

関わりを深める

具体的活動
 運動会
 組体操の取組
 修学旅行
 奈良公園や映画村での班行動

A男：必然的な関わりの中で、仲間から助けをもらいながら自分でできることを増やしていく。

交流学級児童：A男のことを理解し、よりよい関わり方を考えることができる。

関わりを生かす

具体的活動
 学級レク
 A男も一緒に楽しめる遊び (A男ルール)
 卒業に向けて
 文集作り・式練習

A男：仲間と一緒に活動する中で、仲間と関わることへの喜びと仲間への感謝の気持ちをもつことができる。

交流学級児童：A男との関わりを通して、相手を思いやることの大切さに気づき、共生について考えることができる。

A男の実態 (4月)

- ・同学年の仲間との関わりが少ない。
- ・交流学級へあまり行きたがらない。
- ・仲間と一緒に活動するのが苦手である。

交流学級児童の実態 (4月)

- ・ほとんどの児童はA男をいやがってはならず、トラブルなく過ごしている。
- ・自分から進んでA男と関わろうとする児童は少なく、A男に対して無関心な児童が多い。